

授業科目(ナンバリング)	茶道文化IVA(AB401)			担当教員	安部直樹・嶋内麻佐子		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
4年間の集大成として、正午の茶事を通し、茶会の基本的な流れを理解し、茶道におけるもてなしを探る。茶事の運営を通して、相手への心遣いや協調性、礼儀作法を学び、今後の社会生活に繋げる。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	茶事の基本を理解し、役割について説明ができる。				課題レポート	10%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	実技(準備・片付け含む)に取り組む中で、7~8名のグループの仲間と協調できる。				授業態度	70%	
多様性理解力	茶事を運営することができる。				正午の茶事への参加	20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
正午の茶事への参加は20%とし、茶事の事前準備や当日の取り組む姿勢から評価する。授業態度については70%とし、稽古への積極性を評価する。課題レポートは10%とし、正午の茶事を終えての感想や気付きから評価する。また、毎回の授業内容について授業中に記録カードに記入させ、フィードバックを行う。							
授業の概要							
8~10名のグループに分かれて、外部の客を招き、正午の茶事を成功させることを目標とする。各グループで茶事の流れ(寄付き、露地、外待合、懐石料理、炭点前、中立ち、濃茶席、薄茶席)について、グループワークを通して稽古をする。客への案内状の作成や炭の準備も行う。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,400円の諸経費が必要である。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。							
教科書・参考書							
教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化(基礎編)』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 参考書：桑田 忠親著『茶道の歴史』講談社(1979年) 指定図書：安部 直樹、嶋内 麻佐子、木村 勝彦『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』人間社会学部国際観光学科共同研究(2018年)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・茶室での貴重品の取り扱いは自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。 ・茶道文化IVは4年間の集大成でもある。茶道は点前のみが茶道では無い。その中から生まれてくる精神性が、茶の理念でもある。茶会では亭主と客とが協力しあってはじめて「一座建立」の世界を保つことができる。その考え方は一般社会においても同様である。茶道を通して「人と人」「人と物」の関係を学び、人間としての在るべき姿を見つけ出してほしい。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・唐物点前見本	唐物点前の見本を確認し、概要を理解する。	教科書 pp. 70～80 を読み、予習・復習する。
2	・唐物点前稽古①	茶会形式で唐物点前の復習。	唐物点前の特徴について復習する。
3	・唐物点前稽古②	茶会形式で唐物点前の復習。	唐物点前の特徴について復習する。
4	・続き点前見本	続き点前の見本を確認し、概要を理解する。	教科書 pp. 70～93 を読み、予習・復習する。
5	・炭を切る	茶事本番用の炭を切る。	教科書 p. 63 を読み、炭の種類を整理する。
6	・炭点前① ・茶事の作法①	炭点前の復習。 茶事の作法について学ぶ。	炭点前の道具の扱い方を予習・復習する。 茶事の役割について予習・復習する。
7	・炭点前② ・茶事の作法②	炭点前の復習。 茶事の作法について学ぶ。	炭点前の道具の扱い方を予習・復習する。 茶事の役割について予習・復習する。
8	・茶事の日程 ・役割決め	茶事の日程・役割を決める。	指定図書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』 pp. 30～70 を読み、予習・復習する。
9	・班別練習①	正午の茶事に向け、班別に練習を行う。	指定図書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』 pp. 30～70 を読み、予習・復習する。
10	・班別練習②	正午の茶事に向け、班別に練習を行う。	指定図書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』 pp. 30～70 を読み、予習・復習する。
11	・茶事の準備①	客迎いの準備を学ぶ。	正午の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
12	・茶事の準備②	客迎いの準備を学ぶ。	正午の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
13	・茶事の準備③	客迎いの準備を学ぶ。	正午の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
14	・正午の茶事(前日)	客迎いの準備を学ぶ。	各役割の動きについて予習・復習をする。
15	・正午の茶事(本番)	客を招き、正午の茶事を実施する。	各役割の動きについて予習・復習をする。